

# 第四次環境基本指針

【R 3～R 12年度(2021～2030年度)】

# 第六次環境基本計画

【R 3～R 7年度(2021～2025年度)】

素 案

令和3年(2021年) 月

熊 本 県

# 【目 次】

## ◆環境基本指針

1	基本指針策定の趣旨	1
2	基本的な考え方	1
(1)	人と環境の望ましいあり方	1
(2)	5つの目指すべき姿	3
①	ゼロカーボン社会	3
②	循環型社会	4
③	自然共生社会	4
④	安全で快適な生活環境	5
⑤	様々なリスクに備えた社会	5
(3)	取組みを推進するにあたっての考え方	6
①	SDGsや地域循環共生圏の考え方を踏まえた課題解決	6
②	あらゆる主体におけるパラダイムシフト(変革)	6
(4)	環境施策の方向	7
①	ゼロカーボン社会・くまもとの推進	7
②	循環型社会の推進	7
③	熊本の恵みを未来につなぐ自然共生社会の実現	8
④	安全で快適な生活環境の確保	8
⑤	リスクに備えた社会づくりと球磨川流域における「緑の流域治水」の推進	9
⑥	環境立県くまもと型未来教育	9
⑦	持続可能な環境の創造に向けた仕組みづくり	9
3	推進体制の整備	10
(1)	すべての主体との協働による推進体制	10
	計画推進に向けた各主体の役割(行動指針)	11
(2)	県における推進体制	13
4	点検と評価	15

第1編 計画の基本的事項

- 1 基本計画策定の趣旨 . . . . . 19
- 2 基本計画の性格・位置付け . . . . . 19
- 3 基本計画の対象地域・期間 . . . . . 21
- 4 基本計画の構成 . . . . . 21

第2編 環境を取り巻く状況

- 1 環境の現状 . . . . . 22
- 2 国内外の動き . . . . . 27
- 3 前計画の成果と今後の課題 . . . . . 33

第3編 重点テーマ

- 1 2050年熊本県内CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ宣言 . . . . . 42
- 2 地球温暖化と気候変動の現状 . . . . . 44
- 3 『緩和』と『適応』を両輪とした対策の推進 . . . . . 54

第4編 分野別計画

第1章 ゼロカーボン社会・くまもとの推進 . . . . . 58

第1節 地球温暖化対策の推進 【区域施策編】 . . . . . 58

- 1 熊本県の温室効果ガス排出量の現状 . . . . . 58
- 2 2050年ゼロカーボンに向けたロードマップと目標等 . . . . . 60
- 3 温室効果ガス排出削減に向けた部門別取組 . . . . . 70
- 4 温室効果ガス排出の削減及び吸収等に向けた横断的な取組み . . . . . 88

第2節 県の事務・事業における温室効果ガス排出削減  
(地球温暖化防止に向けた県庁率先実行計画)の推進 【事務事業編】 . . 101

第2章 循環型社会の推進 . . . . . 104

第1節 資源循環の推進 . . . . . 104

- 1 循環型社会の形成に向けた基盤づくり . . . . . 106
- 2 廃棄物の排出抑制、再使用、再生利用、熱回収の推進 . . . . . 106
- 3 廃棄物の適正処理の推進 . . . . . 107
- 4 バイオマスの利活用の推進 . . . . . 108
- 5 災害廃棄物の適正処理 . . . . . 108

第3章	熊本の恵みを未来につなぐ自然共生社会の実現	109
第1節	森林、水辺等の自然環境の保全	109
1	保全のための総合的な対策の推進	111
2	多様で豊かな森林づくり	111
3	二次的自然環境（里地里山や阿蘇の草原など）の保全・再生	112
4	野生鳥獣の保護・管理の推進	114
5	水辺環境の保全・再生	114
第2節	生物多様性の保全に係る対策の推進	116
1	生物多様性の保全	119
2	生物多様性の恵みの持続的な利用	120
3	生物多様性を支える基盤づくり	120
第4章	安全で快適な生活環境の確保	122
第1節	水環境に係る対策の推進	122
1	健全な水循環の確保（安定的な水の確保）	124
2	水質の保全策の強化（きれいな水を守る）	126
3	豊かな川と海づくりの推進（有明海・八代海再生）	126
第2節	大気環境に係る対策の推進	128
1	大気環境の監視	129
2	発生源対策	129
第3節	オゾン層の保護対策の推進	131
第4節	騒音、振動、悪臭、光害などの対策の推進	132
第5節	土壌汚染と地盤沈下の対策の推進	133
第6節	化学物質・放射性物質の環境リスクの評価・管理	134
第7節	水銀フリー社会の実現に向けた取組み	135
第8節	緑と水のある生活空間の保全・創造	136
第9節	良好な景観及び文化財の保全・創造	137
第5章	リスクに備えた社会づくりと球磨川流域における「緑の流域治水」の推進	141
第1節	気候変動の影響への適応	141
1	基本的事項	141
2	分野別気候変動適応策	142
第2節	大規模災害への備え	160
1	自然生態系を活用した備え	161
2	災害時に備えたエネルギー等の確保	161
3	災害廃棄物の適正処理	162

第3節	ニューノーマルへの社会変革	163
第4節	球磨川流域における「緑の流域治水」の推進	164
第6章	環境立県くまもと型未来教育	166
第1節	未来を支える人づくり	166
第2節	豊かなくまもとを守り育てる地域づくり	171
第7章	持続可能な環境の創造に向けた仕組みづくり	172
第1節	環境アセスメントの推進	172
第2節	環境情報・研究のネットワーク化	173
第3節	国際協力の推進	176